

**令和8年度 産業・情報技術等指導者養成研修
実施案内**

教科【家庭 E-1】

1. 研修期間 令和8年8月18日(火)～令和8年8月20日(水)
2. 研修日程 (別添1) のとおり
3. 講師一覧 (別添2) のとおり
4. 会 場 (別添3) 参照
＜8月18日(火)・20日(木)＞ 全国高等学校長協会家庭部会事務局 3階会議室
東京都千代田区富士見1-5-6 TEL 03-3261-0617 FAX 03-3288-1670
＜8月19日(水)＞ 東京食糧栄養専門学校
東京都世田谷区池尻2-23-11 TEL 03-3424-9113 FAX 03-3424-9167
5. 研修初日の集合時間及び場所
8月18日(火) 受付：午前9時～9時20分
全国高等学校長協会家庭部会事務局 3階会議室
6. 持参するもの
(1) 筆記用具・印鑑・昼食
(2) [第2日目実習] エプロン、三角巾
7. 宿泊について
宿泊の斡旋はしません。宿泊先は各自で確保してください。
8. 事前課題の作成について
(1) 課題
デジタル学習基盤を活用しながら「深い学び」につながる授業の実践
※担当科目(共通、専門どちらでも可)の授業の一つの場面を取り上げ、(別紙様式)により作成。
【データファイル名：課題・受講者番号・都道府県名・氏名】
(2) 提出方法及び提出期限
文部科学省初等中等教育局 田邊教科調査官宛に、メールの件名を「受講者番号 課題提出」とし、
8月12日(水)までにデータで提出。 [E-mail : akiko-t@mext.go.jp]
9. その他
(1) 8月18日(火)、午後5時30分から情報交換会を行います。(会費 4,000円程度)
(2) 事前の連絡はE-mailで行いますので、日頃使用するアドレス(スマートフォン等を除く)を次の方法でお知らせください。
※メールの件名を「R8研修(氏名)」とし、7月21日(火)までに《問合せ先》のアドレスに送信。
本文に「都道府県名・学校名・氏名」を記載してください。
なお、アドレス情報は取扱に十分留意し、本目的以外に使用することはありません。

《問合せ先》

全国高等学校長協会家庭部会
事務局長 加藤 路子

電 話 03-3261-0617

FAX 03-3288-1670

E-mail all-kocho@katei-ed.or.jp

(別添1)

令和8年度 産業・情報技術等指導者養成事業研修日程

全国高等学校長協会家庭部会

月日(曜)	午前1(9時30分～11時)		午前2(11時～12時30分)		午後1(13時30分～15時00分)		午後2(午後15時00分～16時30分)		実 施 会 場
	9:30	10:00	11:00	12:30	13:30		15:00	16:30	
8月18日 (火)	【開講式】	【講義】 「学習指導要領の よりよい実施に向けて」 文部科学省初等中等教育局 教科調査官 田邊 暁子	【実践報告】 「GIGA×教科～深い学びに向けて～」 大分県立情報科学高等学校 教諭 白星 暁美		【講義】 「若者の消費者被害の現状」 (公社)日本消費生活アドバイザー・コンサルタント ・相談員協会(NACS) 代表理事 副会長 丹羽 典明		【講義】 「地域と学校の協働活動の推進 ～地域おこし協力隊の経験を生かして～」 茨城県潮来市市長公室企画政策課 地域プロジェクトマネージャー 小林 正英		全国 家庭部会事務局 高等学校等協会 会議室(千代田区)
8月19日 (水)	午前1(9時30分～10時30分)		午前2(10時30分～12時30分)		午後1(13時30分～15時30分)		午後2(午後15時30分～16時30分)		東京 栄養食糧専門学校 学校法人 食糧学院 (世田谷区)
	9:30		10:30	12:30	13:30		15:30	16:30	
	【講義】 「減塩を科学的に理解しらくちんに実践するには ～食事摂取基準と食品成分表の活用～」 学校法人 食糧学院 東京栄養食糧専門学校 教授 渡邊 智子		【実習】 「健やかに生きるための、簡単で美味しく 食塩40%減の料理」 学校法人 食糧学院 東京栄養食糧専門学校 准教授 金澤 敏文 【助手】 北田 真輝		【実習】 SdGs 持続可能な食生活と オムレツ調理のコツを学ぶ 学校法人 食糧学院 東京栄養食糧専門学校 准教授 鈴木 健一 【助手】 助教 武田 旭由		【演習】 「高校生のためのスポーツ栄養のポイント」 学校法人 食糧学院 東京栄養食糧専門学校 助教 尾出翔子		
8月20日 (木)	午前1(9時30分～11時)		午前2(11時～12時30分)		午後1(13時30分～14時30分)				全国 家庭部会事務局 高等学校等協会 会議室(千代田区)
	9:30		11:00	12:30	13:30	14:30	14:45	15:00	
	【講義・演習】 「家庭科における保育学習の意義 ～子どものウェルビーイングの実現を目指して～」 東京学芸大学 教授 倉持 清美		【講義】 (仮) 「後輩家庭科教員たちへ伝えたいこと」 岐阜県立岐阜総合学園高等学校 前校長 片岡 潤子		【まとめ・研究協議】 「研修のまとめ」 文部科学省初等中等教育局 教科調査官 田邊 暁子		閉講式		

講 師 一 覧

氏 名	職 名	送 付 先
講師 田 邊 暁 子	文部科学省 初等中等教育局 教育課程課 教科調査官	【講義】 8/18 「学習指導要領のよりよい実施に向けて」 【まとめ・研究協議】 8/20 「研修のまとめ」
講師 白 星 暁 美	大分県立情報科学高等学校 教諭	【講義】 8/18 「GIGA×教科～深い学びに向けて～」
講師 丹 羽 典 明	(公社) 日本消費生活アドバイザー・ コンサルタント・相談員協会 (NACS) 代表理事 副会長	【講義】 8/18 「若者の消費者被害の現状」
講師 小 林 正 英	茨城県潮来市 市長公室 企画政策課 地域プロジェクトマネージャー	【講義】 8/18 「地域と学校の協働活動の推進 ～地域おこし協力隊の経験を生かして～」
講師 渡 邊 智 子	学校法人食糧学院 東京栄養食糧専門学校 教授	【講義】 8/19 「減塩を科学的に理解しらくちんに実践するには ～食事摂取基準と食品成分表の活用～」
講師 金 澤 敏 文	学校法人食糧学院 東京栄養食糧専門学校 准教授	【実習】 8/19 「健やかに生きるための、簡単に美味しく 食塩 40%減の料理」
講師 鈴 木 健 一	学校法人食糧学院 東京栄養食糧専門学校 准教授	【実習】 8/19 「SdGs 持続可能な食生活と オムレツ調理のコツを学ぶ」
講師 尾 出 翔 子	学校法人食糧学院 東京栄養食糧専門学校 助教	【演習】 8/19 「高校生のためのスポーツ栄養のポイント」
講師 倉 持 清 美	東京学芸大学 教授	【講義・演習】 8/20 「家庭科における保育学習の意義 ～子どものウェルビーイングの実現を目指して～」
講師 片 岡 潤 子	岐阜県立岐阜総合学園高等学校 前校長	【講義】 8/20 (仮)「後輩家庭科教員たちへ伝えたいこと」

(別添3)

《家庭 会場の周辺案内図》

【8月18日(火)・20日(木)】

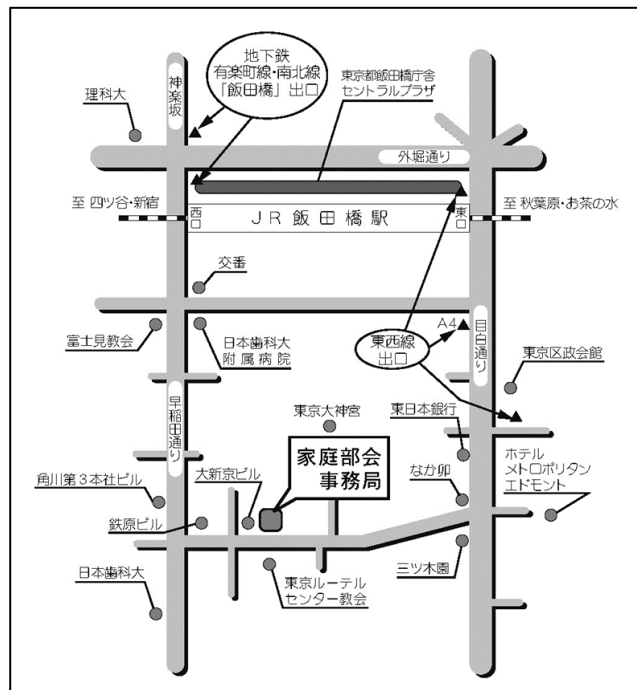
全国高等学校長協会家庭部会事務局

住 所：東京都千代田区富士見1-5-6

電 話：03-3261-0617

FAX：03-3288-1670

最寄駅：JR 総武線・地下鉄東西線・南北線・
大江戸線 「飯田橋」駅下車 徒歩5分



【8月19日(水)】

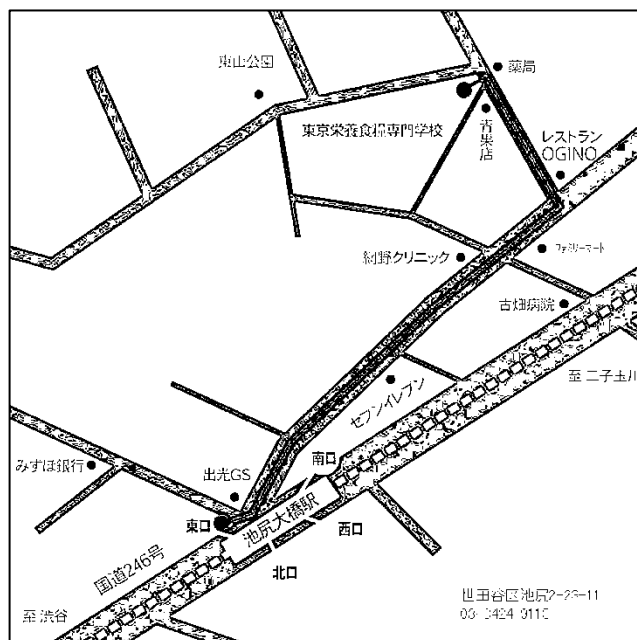
東京栄養食糧専門学校

住 所：東京都世田谷区池尻2-23-11

電 話：03-3424-9113

FAX：03-3424-9167

最寄駅：東京メトロ半蔵門線・東武伊勢崎線・
東急田園都市線
「池尻大橋」駅東口から徒歩5分





科目名 () (学年)

單元名 (○○・・・・・・・・・・・・・・・・)

○○○

授業の概要

○○○

○○○な学び
(どのような場面でのどのような学びが)

○○○な学び
(どのような場面でのどのような学びが)

○○○な学び
(どのような場面でのどのような学びが)

○工夫したポイント

単元計画

【メモ】

- ※ どのような場面での学びが、どのように「深い学び」につながっているか、端的にまとめてください。
- ※ デジタル学習基盤をどのように活用しているか、具体的にご紹介ください。
- ※ 単元の指導計画を2枚目のシート(このシート)にお示してください。
(入らない場合はシートを追加してください)
- ※ ワークシートなど、追加の資料がある場合は、スライドに続けて添付してください。
- ※ 可能な限り全体で5シート以内に収まるようにおまとめください。
- ※ 必要に応じてシートを増やしてください。
もしあれば、ワークシートなどを追加してください。
(このメモも消してください)